

## 女性活躍応援コース

京都女子大学  
データサイエンス  
研究所  
提供講座

定員

15名

## 研修趣旨・受講目的

女性が、DXや統計学に関する知識やスキルを身に付けることは、ライフイベントの影響を受けやすい女性にとって、これからの社会を生き抜く力、キャリアを支える力になり、本学の使命である女性のエンパワーメントにもつながると考え、受講対象を女性としています。身近な 이슈 に対して価値創造を可能にするデータサイエンスという学問とそれを体現するデータサイエンティストは、近年、さまざまな分野で注目されています。日頃、データサイエンティストたちはどのような思いでデータを収集し分析を行い、解決の糸口を探っているのでしょうか。本講義の前半では、データサイエンスの一つの柱である統計学で扱われる(1)データを整理する方法、(2)データを批判的に吟味する方法、そして(3)データの背後に潜むことがらを推測する方法について習得していただきます。講義の後半では、講義の前半で学修した内容をハンズオン形式の演習によりさらに深めていく予定です。本講義により、データの収集、要約、評価に関わる一連のスキルを具体的に身に付けることができます。

## 研修講師



京都女子大学 宗教・文化研究所 准教授  
データサイエンス研究所 兼任研究員  
データサイエンス学部(認可申請中)  
教員就任予定

林 邦好氏

## 求める受講生

データサイエンスのスキルを用いて日々の仕事の効率化や業務改善を目指したい方、データハンドリングの能力を身に付け転職、兼業・副職などを目指す方の参加を期待します。(※エクセルがインストールされたノートパソコン持参のこと)

## 受講前に知っておきたい内容・学習文献等

『Excel でやさしく学ぶ統計解析』(石村貞夫・劉農・石村友二郎著/東京図書)で書かれている内容を踏まえ授業を行います。ハンズオン形式の演習ではPCを用います。ご自身のノートPCをご持参いただくことにより、受講後も引き続き同じ環境でデータ分析を行うことが可能になります。

※上記に記載の文献は、講義に持参いただく必要はございません。

日時	内容	事前課題	場所
11月5日(土) 8:50-12:05	<b>データサイエンスとは何か?</b> (1-1)データサイエンスについて/ (1-2) 様々なタイプのデータ (1-3) 統計学で登場する記号	学習文献の第1章から第4章までの内容について予め目を通していただくことをお勧めいたします。	京都女子大学
11月12日(土) 8:50-12:05	<b>データをわかりやすく要約する方法</b> (2-1) 記述統計の考え方/ (2-2) データの代表値 (2-3) データの散布度	前回の講義で出題された課題を次回の講義までに取り組みいただきます。	京都女子大学
11月19日(土) 8:50-12:05	<b>データの背後に潜むことがらを推測する方法</b> (3-1) 相関について (3-2) 推測統計の考え方	前回の講義で出題された課題を次回の講義までに取り組みいただきます。	京都女子大学
12月10日(土) 8:50-12:05	<b>ハンズオン形式の演習(導入)</b> (4-1) データの読み込みと名前付け/ (4-2) データの型と配列 (4-3) 条件分岐と繰り返し処理	前回の講義で出題された課題を次回の講義までに取り組みいただきます。	京都女子大学
12月24日(土) 8:50-12:05	<b>ハンズオン形式の演習(記述統計)</b> (5-1) 質的データのまとめ方/ (5-2) 量的データのまとめ方 (5-3) データの可視化	前回の講義で出題された課題を次回の講義までに取り組みいただきます。	京都女子大学
1月7日(土) 8:50-12:05	<b>ハンズオン形式の演習(推測統計の基礎)</b> (6-1) 項目間の関連性評価/ (6-2) まとめと振り返り	前回の講義で出題された課題を次回の講義までに取り組みいただきます。	京都女子大学

## このコースを通じて身に付けられる能力・知識・技術・技能

データを整理することやデータを定量評価することを通じて、イシューに対する価値創造を正しく実践するための能力を身に付けていただくことが見込めます。

## このコースで目指す姿・修了後のあり方

本講義で学んだ考え方やスキルをもとにさらに研鑽を積んでいただき、将来的にはデータサイエンティストとして社会で活躍していただくことを期待しています。